

Radixの会 2003年度予算計画

Radixの会 事務局長 竹内 周

本年度の活動予算が決定しました。事務局にてとりまとめた各専門部会予算案に基づき、交流部会（3月27日）、農産・畜産・食品の3部会（3月28日）での討議を経て、去る3月28日に開催された第16回役員会での全体討議にて決定しました。

Radix

Radix

■予算案検討の方法

会長・副会長がリーダーとなって各部会（下記）での検討（交流部会3/27、他部会3/28）を行ない、各部会ごとに検討結果をとりまとめ、部会ごとに発表者を決めていただき全体討議（3/28）にて、最終のとりまとめを行いました。

●検討メンバー

3/28AM 農産部会：

蓬臺・後藤／坂東・尾形・早川・佐野・中嶋・（鈴木）

3/28 AM畜産部会：

高橋・川崎／岸・中村・（倉嶋）・竹内

3/28 AM食品部会：

竹並・川崎／五月女・河野・川合・平田・（島田）

3/27 PM交流部会：

五月女・藤巻／河野・福江・蓬臺・高橋・竹並・竹内・（島田）

※以上役員幹事名・敬称略



役員会全体会の前に行なわれた専門部会会議「農産部会」

■2003年度活動予算案

収入総額は60,000千円と前年どおりの予算です。支出総額は89,990千円となりました。予算の詳細は次頁「2003年度予算計画」をご参照ください。

■予算案作成の経緯

●方向性と振り分け：

1月23日役員会にてご承認いただいた方針を元に、それぞれ必要な打ち合

わせを行なった上組み立てました。

〔農産部会〕

らでいっしゅぼーや農産部打ち合わせ（2/13、2/28）、小祝氏・後藤氏打ち合わせ（2/19、3/1）

〔畜産部会〕

らでいっしゅぼーや商品部打ち合わせ（2/21、2/24）

〔食品部会〕

らでいっしゅぼーや商品部打ち合わせ（2/24、3/4）

〔交流部会〕

らでいっしゅぼーや企画部打ち合わせ（3/4）、五月女会長打ち合わせ（3/11）

●とりまとめ手順：

活動の実態に沿ってそれぞれ下記手順により3月初旬より取り組み、要望をとりまとめました。

〔農産部会〕

“1/23部会方針”を採用し、地域ブロック活動計画にらでいっしゅぼーや農産部の提案を折衷させた

〔畜産部会〕

“1/23部会方針”を採用し、らでいっしゅぼーや商品部の考えを反映させた

〔食品部会〕

“1/23部会方針”を採用し、らでいっしゅぼーや商品部の考えを反映させた

〔非食品〕

“1/23部会方針”を採用し、活動枠を確保した

〔交流部会〕

“1/23部会方針”を採用し、らでいっしゅぼーや企画部提案、五月女会長の考えを反映させた

■予算についての考え方

事務局では上記の手順を踏まえた上、提案を反映させ予算組みをしました。支出額が当年収入額を上回る予



こちらは「食品部会」。専門部会と全体会とに分けることで討議も活発になった感がある。

算組みとなっています。これについて以下ご説明させていただきます。

●活動の現状／

予算の増減について：

農産部会の活動は前年度活動の延長線上で活性化しており、さらに職員数が増加する見込みとなっています。これを受け小祝氏との専属契約等も踏まえ予算微増でまとめました。交流部会では、本年度らでいっしゅぼーやを通じた「消費者との交流」について全体的に予算化する計画も含め予算増。畜産部会は有機畜産周辺で現状維持。事務局活動は、総会開催費用等の増加、事務局運営では専門部会活動の増加に伴う人員拡充などで予算増加です。食品部会では前年度のカテゴリー集会等の活動を絞り込むなど現状維持の方向。

●予算管理について：

このような現状を鑑み、本年度予算について、現時点では縮小予算を組まず活動の活性化を目指す。上期が終了した時点（8月）で各活動の成果を評価し、場合によっては10月の役員会にて予算の下方修正をおこなう。